

dialogue

Taiwa town assembly official report

Volume

225

6月定例会議

令和7年8月1日

たいわ町議会だより



若き才能、
大和町から世界へ。



🔍 大和町議会

地域の人々の交流を増やし、 地域を元気に！



吉岡地区中町「中町納涼祭」

吉岡地区は町の中心として発展してきましたが、働き方の多様化や生活習慣の変化により、世代間での地域交流が希薄になっています。

地域のお祭りなどの開催には、人や費用面での支援が必要と考えられ、この事業の意義を感じます。

災害時には住民同士のつながりが共助を生み出すと期待され、地域交流の重要性が高まっています。



吉岡区長会長
曾根 崇さん



吉田地区沢渡「ほたるのおんがくさい」

沢渡地区の人口は、ピーク時の三分の一程度まで減少し、地域の伝統文化や農業、さらにはこれまで助け合いによって支えられて来た集落という社会システム、その維持も難しく感じています。

今回の交流促進支援事業を活用し、地区内外の多様な方々と共に、吉田地区を舞台として様々な取り組みをし、新たな交流の場として機能するよう取り組んで行きたいと思います。



吉田区長会長
はやさか ひでお
早坂 秀男さん



落合地区蒜袋「蒜袋地区納涼祭」

資金面の課題から行事を実施できない地区にとって、本事業は大きな助けになります。

一方で町の財政への影響も感じます。趣旨は町民の思いを反映していますが、実行が難しい地区もあるのが実情です。

現在、若者が主体の夏祭りをお盆に企画中で、今後は地域間交流型の行事も検討したいと考えています。

他地区の事例を参考にし、取り組んでいきたいです。



落合区長会長
ふじえ あきお
藤江 昭夫さん

行政区内交流促進支援事業

地域の区長さんに聞いてみた！

行政区内交流促進支援事業って どんな事業？



各地区のそれぞれの特性を生かした幅広い活動を行うことにより、地域の交流促進を目的に創設された助成制度です。

各地区が行うお祭りや運動会といったイベント、ボランティア研修会、防災訓練や交通安全といった地域づくり活動などに使用できます。

本事業を活用し、地域行事や防災訓練、世代間交流などの活動に積極的に取り組んでいきたいと考えます。

一方で、事業計画や申請手続きに不安を抱く区もあるため、町には継続的な情報提供や申請支援など、伴走型のサポートをお願いしたいと思います。

今後の地域づくりの核となる制度として、行政区ごとにうまく活用していきたいでしょう。



宮床区長会長
おがわ みのる
小川 実さん



杜の丘地区「パル&ハーモニー夏祭り」

今回の行政区内交流促進支援事業は、地域コミュニティの活性化やイベント開催に活用できる貴重な取り組みだと考えております。

夏祭りや交流事業を企画し、地域住民同士のつながりを深めたいと思っています。

行政には引き続きご支援いただき、より住みよい地域づくりを進めていきたいです。



鶴巣区長会長
うちの けんいち
内海 賢一さん



鶴巣地区北目大崎「さくら祭り」

一般質問

議員13人が町長と教育長に質問

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、町民の声や自身の考え方を元に、町長や教育長などの方針を問うものです。

1人60分の制限時間。議会だよりでは、質問と答弁を要約しています。本会議場での傍聴をお待ちしています。

●会議録は議会事務局やホームページで閲覧できます。



ホームページの
会議録はこちらから。

●一般質問はYouTubeで配信しています。



YouTubeの配信
動画はこちらから。

町長 町道松坂報恩寺線の通行量増加は、北部工業団地などへの通勤車両の集中に起因するものであり、町ではU字側溝整備やセンターライン設置などの安全対策を講じてきた。県道仙台三本木線の4車線化事業の早期完

議員 工業団地への通勤車両が生活道路に流入し、速度超過などで大変危険な状況である。住民からは通学時の安全や車の出しにくさなど、不安や不満の声が上がっている。これまでの町の対策と効果検証、今後の安全確保の方針、そして根本的な解決策としてバイパスを新設する考えを伺う。

通勤時間帯における生活道路の交通量削減策は
町長 交通インフラ整備を進めていく



さくら い まさる
櫻井 勝



質問者の動画が視聴できます

地域住民も通勤する人も
どちらも安心できる選択を



一メモ

「広域道路ネットワーク」

全国の都市・農村地区からおおむね1時間以内で到達し得るネットワークを形成する道路のこと。





保護者だけじゃなくて、
地域全体での見守りが大切だね



未成年者行方不明の安全安心を考える

町長 連携し防止体制強化を

議員 令和5年の行方不明者は全国で約9万人に上り、未成年者も多数を占める。

子どもたちの安全確保は喫緊の課題である。

本町において原因不明の未成年者行方不明事案が発生していないかを確認するとともに、どのような防犯対策や見守り体制の整備、地域との連携による啓発活動などが可能か。

町長 本町においては、現在のところ原因不明による未成年者の所在不明事案は確認されていない。今後も教育委員会などと連携し、未然防止に努める方針である。
また町としては、学

校・福祉機関・児童相談所などと協力し、不登校やいじめ、家庭環境の問題といったリスクの早期把握と相談体制の整備に取り組むつもりである。

そして保護者への啓発や地域住民と連携した見守り活動の強化、GPS端末の活用、SNSによる情報発信体制の構築など、多面的な対策を進めていく考えである。

さらに、行方不明発生時には警察との連携による初動対応を迅速に行い、地域全体で未成年者の安全を見守る体制づくりを進める方針である。再発防止の観点も踏まえた継続的な取り組みが重要である。



子どもたちみんなに
集中できる学習環境を！



中高生の学習場所の確保について

町長 公共施設の試行活用を

議員 家庭で静かに学習できる環境が整わない子どもが増える中、本町には図書館などの学習場所がなく、放課後や休日に安心して学べる公共の場が不足している。

町として中高生の学習環境向上のため、公共施設の活用や、特に高校受験を控える中学3年生への塾費用補助制度創設の考えについて見解を伺う。

町長 家庭外で学習する理由として、家庭では誘惑が多く集中しづらい一方、図書館などでは他者の目が刺激となり学習意欲が高まる見物効果がある。

町では現在、まほろばホール2階談話ラウンジに学習スペースを試行的に設置し、利用

状況を踏まえた今後の展開を検討している。

また、猛暑や厳寒期にはクーリングシエルトーなどの公共施設活用も視野に入れる。

中学3年生への補助制度の創設は考えていないが、新たに中学校全学年を対象とした土曜学習「まほろば塾」を実施しており、要望が多ければ内容の充実を図っていく方針である。

今後も子どもたちの学習機会の公平性と学力向上を支えるため、家庭外の学習環境の整備を段階的に進めていく考えである。



その他の質問

・「生きる力」を育む小学校の再編について
・緑内障による視覚障害予防について



いぬかい かつこ
犬飼 克子



質問者の動画が視聴できます

必要な人に

必要な支援が届くように！



ヤングケアラーについて

町長 実態把握と支援強化を

議員 家庭環境や社会構造の変化を背景に、支援が届きにくいヤングケアラーの存在が課題となっている。
国の支援マニュアルなどを活用し、本町でも実態調査による早期発見、コーディネート配置やピアサポートなどの支援体制の強化、さらに広報誌やホームページを活用した認知度向上を図る必要があるのでは。

員会などと連携して実態調査の手法を検討していく。

また、県の職員研修やコーディネート派遣、ピアサポートなどの事業にも積極的に参加し、対応力強化を図る。加えて、広報紙やホームページによる周知啓発に努め、社会全体で理解と支援を深めていく考えである。

今後は学校、医療、福祉など多機関との連携を一層強化し、子ども自身が気づきやすく、周囲も気づいて支えられる体制づくりを目指す。



その他の質問

- ・スフィア基準について
- ・投票支援カード・支援ボードの活用を



こだまきん べい
児玉金兵衛



質問者の動画が視聴できます

高齢者の方々が出かけ

しやすいまちへ！



高齢者へさらなる外出支援を

町長 利用促進と利用者負担の両面で検討

議員 高齢者が家族や地域に支えられ、生き生きと毎日の暮らしを楽しむために、本町では外出支援に力を入れている。

その効果を高めるには、高齢者外出支援事業（高齡者タクシー・サブローカード）のさらなる利用が望まれる。本事業の利用者は町民バスを無料とし、利用率アップにつなげては。

%へ上昇し成果を挙げている。一方で、利用の方法が理解しにくいとの意見もいただいている。活用事例の情報発信や、地域の皆様から具体的な活用アイデアを募るなど機運を高め、さらなる利用率の向上に努めている。

本事業の利用者に対し、町民バスを無償化することで、利用促進の相乗効果も考えられるが、町民バスは利用者負担を前提とする国の補助を受けた事業である。利用促進と利用者負担の両面で検討していく。



その他の質問

- ・七薬師掛けで縁結び
- ・二十歳の記念に台ヶ森焼を



つきた まさゆき
槻田 雅之



質問者の動画が視聴できます

注意喚起と修繕で転倒防止！



公共施設の段差解消と定期点検で転倒事故を防げ

町長 点検・改修を継続する

議員 高齢者の転倒事故は、段差や滑りによる「つまずき」などが主な原因であり、大けがにつながるおそれがある。

そこで、町内の主要公共施設（南部コミセン、役場、ひだまりの丘、まほろばホール）において、屋内外の段差の把握状況や、これまでに発生した転倒件数およびその原因について、町の見解を伺う。

では、職員による日常点検により、つまずきにつながる段差を把握している。また、利用者からの情報提供も活用している。

転倒事故は各施設で1件ずつ発生しており、ひだまりの丘では地震などによる舗装沈下が原因で段差が生じ「つまずき」による転倒が確認されている。

施設利用団体を通じて高齢者への注意喚起を行っており、現在は施設の大規模改修を予定している。

段差部分については注意喚起や部分修繕による対応を継続する方針である。



町長 公共施設は町民サービスの提供だけでなく、非常災害時には避難所機能も担うため、設置者には法令に基づく点検や職員による巡回を通じた適切な維持管理が求められる。

南部コミセン、役場、ひだまりの丘、まほろばホールの各施設



みやざわ みつやす
宮澤 光安



質問者の動画が視聴できます

住民と行政が手を取り合って賑わい促進！



各地域の特性を生かした賑わい創出を

町長 支援の継続と検討を進める

議員 地域の賑わい創出には、地域住民と行政が一体となる取り組みが重要である。

「花まつり」では町も支援を行っているが、他地域での開催にも同様の支援が可能か。

また、安心安全なイベント実施には公園の整備が不可欠であるが、現状の確認は、さらに、町の賑わい拠点として注目される「道の駅」についての計画は。

的支援を行い、地域との連携による継続的な開催を支援している。

また、各地域でのイベントにおいても、公園施設の安全性と快適性を確保するため、専門資格者による定期点検や維持管理を実施している。

さらに、町民アンケートにおいて「道の駅等観光交流拠点」が最も多くの要望を集めたことから、町は後期基本計画への反映を今後検討していく。

道の駅の計画については、町内産品の販売や地域振興の拠点としての可能性を視野に、引き続き検討を進める。

町長 町の第五次総合計画においては「特性を活かした地域づくりの推進」が掲げられており、住民と行政が一体となった施策展開の重要性が高まっている。

「花まつり」には、町が補助金の交付や人





あきこ 昭彦
ほんだ 本



質問者の動画が視聴できます

持続可能な農業を目指して！



地域計画策定と今後の支援策は

町長 関係機関などと連携し支援を

議員 各地区で地域計画が策定され、農地の集積・集約化を通じた持続可能な農業の実現が目指されている。しかし、少子高齢化や担い手不足などの課題は依然深刻であり、計画の実行には関係機関との連携が不可欠である。計画策定を通じて見えてきた課題とその解決策、さらに地域農業を支える担い手の確保と支援策について今後の対応方針は。

地や施設の老朽化、獣害といった課題が明らかとなり、農地整備事業やスマート農業の導入、補助金の活用などで対応していく。担い手確保策としては、国の新規就農支援制度や農業者大型特殊自動車運転免許取得補助事業、農業機械導入の支援などを実施しており、就農希望者への相談対応や事業計画作成支援も進めている。今後も関係機関と連携し、持続可能な地域農業の維持・発展に向けた支援に努めていく。



一口メモ

「地域計画」

地域の農業者が中心となり、地域の将来の農地の利用状況や農業のあり方を話し合い、取りまとめた計画。

町長 地域農業の将来像を示す地域計画の策定に向け、44地区に協議の場を設け、農業関係者ら延べ364名の参加を得て話し合いを行い、4地区で計画を策定した。担い手不足や高齢化、農業資材高騰、農



ひでき 秀樹
もり 森



質問者の動画が視聴できます

子どもたちが大和町を好きになる教育を！



「教育等の振興に関する施策の大綱」の振り返りと今後の方向性は

町長 郷土愛が芽生える施策を展開する

議員 本町では「教育等の振興に関する施策の大綱」を策定しており、町長と教育委員会が一体となって教育行政を進める体制を整えてきた。

この大綱は、総合的な施策の目標や根本となる方針を定めるものとされている。

これまでの成果や課題の評価を踏まえ、今後は「町らしさや地域の特性を反映した教育施策の展開が求められるのでは。」

教育に取り組んできた。

これまで、志教育や地域体験活動、ICTを活用した授業の推進、不登校児童生徒への支援体制強化など、多面的な施策を展開しており、保護者や地域からも高い評価を得ている。

今後は、「しあわせめぐるまちたいわ」の実現に向け、地域の大人と子どもがつながる教育環境を整え、郷土愛と持続可能な町づくり資する教育の推進を図る方針であり、次期大綱にその想いを反映させていく考えである。



その他の質問

・観光ビジョンと方策の明確化は



質問者の動画が視聴できます

子どもたちの修学旅行が
いい思い出になりますように！



小規模小学校の6年生を対象とした合同修学旅行を 教育長 課題精査し検討進行を

議員 少子化により小規模小学校の6年生が単独で修学旅行を実施することが難しくなるなか、修学旅行の機会を確保するため、複数校での合同実施が選択肢として注目されている。

そこで、現在の小規模校における修学旅行実施の課題や、合同実施の際に想定される課題を把握した上で、合同修学旅行の実施を検討すべきではないか。

教育長 修学旅行は、児童の見聞を広げ、集団生活を通じて社会性を育む特別活動であり、小学校生活の大切な思い出となる。

本町の小規模校では、児童数の減少や保護者の経済的負担により、6年生単独での実施が難しいことから、

5・6年生合同での実施など工夫が行われている。

複数校合同での実施には、児童間の事前交流や指導体制の調整、共通理解の確保など課題がある。

一方、費用負担の軽減や他校児童との交流による成長、中学校入学前の人間関係構築など多くの利点もある。

町では今後、こうした課題と利点を丁寧に精査しつつ、各校長や保護者の意見を尊重し、複数小規模校による合同修学旅行の実施について検討していく。



その他の質問

・大和町の職員を中央省庁へ派遣することについて



質問者の動画が視聴できます

町民の安全と自然環境を
守るため、適切な対応を！



メガソーラーの今後の対応について 町長 国基準に沿った対応を研究

議員 大和町内には現在26か所のメガソーラー（大規模太陽光発電）施設があり、多くはFIT制度開始後に導入されたが、2030年代には契約満了と設備老朽化により廃棄パネルの大量発生が懸念されている。

が見込まれているが、買取終了後も発電継続の可能性があり、正確な廃棄量の予測は困難である。

廃棄パネルの処理については国や県の制度により適正処理が義務づけられ、現在町としてはその動向を注視しながら課題整理を行っている。

新規設置については、県の地域共生促進税や国の説明会義務化によりハードルが高まっており、今後は地域と共生する再生可能エネルギー導入に向けた体制づくりを関係機関と連携しながら研究していく方針である。



その他の質問

・公共施設の全容把握と長期的なビジョン設定を
・子育て支援について



こんの しのいち
今野 信一



質問者の動画が視聴できます

学校・家庭・行政・地域が
一体となった子育て環境を！



地域が関われる子育てについて

町長 支援を強化し環境推進を

議員 子育て施策には行政と家庭のみで完結するもののほか、地域の協力が不可欠なものも多い。

「はじめの100か月の育ちビジョン」では、乳幼児期の育ちを社会全体で支えることが求められている。また、近年ではPTA活動への参加率が低下する中、保護者や学校が地域に求める子どもへの関わり方に変化はあるのか。

化、コロナ禍などで地域との関わりが希薄化している現状もある。

国の方針を踏まえ、妊娠期から小学校入学までの切れ目ない支援を目指し、令和7年度からこども家庭センターを設置し、母子保健と児童福祉の両面から支援を行っていく。

また、PTA活動の見直しも進む中で、地域には引き続き児童の見守りや体験活動への協力をお願いし、関係各所が一体となった子育て環境の推進を図っていく考えである。



一〇メモ

「はじめの100か月の育ちビジョン」
子どもの発達を100か月で区切り、成長に応じた関わり方を示す育児方針のこと。令和5年12月に閣議決定した。



ささき ひさお
佐々木 久夫



質問者の動画が視聴できます

運動習慣の定着で
健康な毎日を！



スポーツ奨励で体力づくりを

教育長 各世代の支援強化を

議員 スマートフォンの普及や車社会の影響で運動機会が減少し、体力の低下が懸念されている。学童期の運動は健全育成に重要だが、スポーツ少年団の減少が見られる。

また、中学生の部活動は地域移行が進んでいる。さらに高齢者の運動も有効であり、地域活動の活性化を図るためにも、地域団体への支援が必要では。

教育長 運動機会の減少や生活習慣の変化による体力低下が課題となるなか、世代を問わずスポーツ習慣の定着に向けた取り組みを進めている。

スポーツ少年団については、団員数が減少しているが、補助金や登録費支援、活動団体の紹介などを通じて継続的な支援を行っている。

中学校の部活動は今後、地域クラブ活動への移行が国・県で進められており、町としても関係機関と連携しながら適切な時期に向けて準備を進めていく。

高齢者の運動では、グラウンド・ゴルフが健康づくりや生きがいの場として定着しており、補助金や用具貸与、教室開催などを通じて地域団体の活動支援に取り組んでいる。



一〇メモ

「部活動の地域移行について」
部活動を学校から地域のクラブなどに移し、教員の負担軽減と持続可能な活動を目指す試み。

一目でわかる審議結果

議案番号等	議案	賛成	反対	議決結果	本 田 昭 彦	佐 野 瑠 津	宮 澤 光 安	平 渡 亮	櫻 井 勝	森 秀 樹	佐 々 木 久 夫	犬 飼 克 子	馬 場 良 勝	今 野 信 一	渡 辺 良 雄	梶 田 雅 之	堀 籠 日 出 子	大 須 賀 啓	児 玉 金 兵 衛	今 野 善 行	提案者
4月随時会議(4月11日)																					
議案第48号	令和7年度大和町一般会計補正予算	12	3	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	※	町
報告第5号	専決処分の報告について(工事請負契約の変更について)	-	-	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	長
報告第6号	専決処分の報告について(工事請負契約の変更について)	-	-	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
報告第7号	専決処分の報告について(工事請負契約の変更について)	-	-	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6月定例会議(6月2日～6日)																					
報告第8号	専決処分の報告について(大和町税条例の一部を改正する条例)	-	-	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	町
報告第9号	専決処分の報告について(大和町都市計画税条例の一部を改正する条例)	-	-	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
報告第10号	専決処分の報告について(大和町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	-	-	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
報告第11号	専決処分の報告について(令和6年度大和町一般会計補正予算)	-	-	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	長
報告第12号	専決処分の報告について(令和6年度大和町奨学事業特別会計補正予算)	-	-	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
報告第13号	専決処分の報告について(令和6年度大和町下水道事業会計補正予算)	-	-	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
報告第14号	専決処分の報告について(令和6年度大和町水道事業会計補正予算)	-	-	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	委員長
報告第15号	専決処分の報告について(損害賠償の額を定め、和解することについて)	-	-	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
報告第16号	専決処分の報告について(損害賠償の額を定め、和解することについて)	-	-	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
委発第1号	大和町議会議決規則の一部を改正する規則について	15	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
委発第2号	大和町議会傍聴規則の一部を改正する規則について	15	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議案第49号	一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	15	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議案第50号	大和町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	15	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議案第51号	大和町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	15	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議案第52号	令和7年度大和町一般会計補正予算	15	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議案第53号	令和7年度大和町下水道事業会計補正予算	15	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議案第54号	令和7年度大和町水道事業会計補正予算	15	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議案第55号	損害賠償の額の決定及び和解について	15	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議案第56号	令和7年度大和町一般会計補正予算	15	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議案第57号	令和7年度橋梁補修工事(簀垣橋)請負契約について	15	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議案第58号	令和7年度災害時対応軽自動車トイレカー購入事業物品売買契約について	15	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議案第59号	令和7年度指定避難所スポットエアコン購入事業物品売買契約について	15	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	-	-	適任	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	町
選挙第1号	選挙管理委員会委員及び補充員の選挙	-	-	指名推薦	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	救急・急性期を担う総合病院の誘致に係る要望について	-	-	決定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※ 議長(今野善行)は、賛否が同数でない限り、採決に加わりません。



委員会県外視察レポート



特集

一般質問

定例会議

随時会議

議会活動

総務常任委員会

持続可能な地域づくりへの挑戦

視察日程
6月24日～26日

視察先・内容
島根県 飯南町
移住・定住施策について
島根県 川本町
女子硬式野球チーム「島根フィルティーズ」によるまちづくりについて

視察所感

今回の視察を通じて、飯南町と川本町はそれぞれ異なる切り口から、持続可能な地域づくりに挑戦していることが強く印象に残った。

飯南町は、セミオーダー住宅や移住者支援、住民主体のシテイプロモーションなど、移住・定住の「定着」に力点を置いた総合施策を展開し、町民との共創による地域づくりを進めている。

一方、川本町は、女子野球というユニークな資源を軸



島根フィルティーズの皆さんと

に、地域課題の解決と町の価値創出に取り組み、住民・外部人材・行政が一体となった挑戦を進めている。

その背景には、地域に根ざした誇りや文化、そして変革への強い主体性がある。

両町に共通するのは「人」を中心据えた戦略的アプローチであり、本町にとっても今後の施策形成に多くの示唆を与えるものであった。

社会文教常任委員会

公共施設に防災拠点としての側面を 思い出の学び舎を新たな交流の場へ

視察日程
6月30日～7月2日

視察先・内容
北海道 北広島市
北広島市防災食育センターについて
株式会社 のぼりべつ 酪農館
廃校施設を活用した経緯及び背景、維持管理等について

北海道 登別市
廃校施設の利活用について

視察所感

北広島市で視察した「北広島市防災食育センター」は、学校給食を提
供する側面と、災害時、市民への食料支援を行う防災施設としての側面を持っていた。災害時の支援拠点として非常に有益な施設である。

平成9年から稼働し、老朽化も進む本町の給食センターも立て直しを考
える時期に来ている。大変参考に



北広島市防災食育センターにて

なる事例であった。のぼりべつ酪農館及び登別市では、学校統廃合で使われなくなった施設を、酪農館、文化施設として再利用しており、市民の思い出の地を地域発展の核として活かすという気概を感じた。

廃校は終わりでなく、地域再生のスタート地点にもなりえる。多くの子どもたちが学んだ場所が再び交流の場に生まれ変わるのには、地域にとって大きな価値があると感じた。

産業建設常任委員会

地域資源を生かした6次産業化への取り組み 民間企業との連携による地域づくりの可能性

視察日程
6月18日～20日

視察先・内容
奈良県 田原本町
道の駅を活用した観光振興について

吉本興業株式会社
「笑いの力」で地域を元気に（観光振興、地域コミュニティ活性化、地域の物産開発について）

視察所感

奈良県田原本町の視察では、道の駅「レスティ唐古・鍵」が地域資源を戦略的に活用する拠点として、歴史と観光を融合させた取り組みが印象的であった。

特に、地域農産物を活かした加工品の開発やふるさと納税への展開は、地場産業の6次産業化を進める上で非常に参考になる事例である。

吉本興業株式会社の視察では、住



田原本町役場議場にて

みます芸人プロジェクトを通じて、芸人が地域に根差して活動し、特産品や観光資源をユニークな視点で発信することで、地域活性化に貢献している点が印象に残った。

今回の視察を通じて、民間企業の活用が極めて重要だと実感した。今後議会としても、こうしたソフト事業を支える体制整備を議論し、地域課題の解決に結びつけていきたいと強く感じた次第である。

政務活動費の報告

◇政務活動費とは

調査研究などの活動に必要な費用の一部として、会派や議員へ政務活動費(議員一人月10,000円)を町から交付されている。

◇どんなものに使えるの？

政務活動に必要な費用として、町政の課題への調査研究、研修への参加、広報・広聴、要請要望、住民相談、会議への参加費などに使える。ただし、政党活動や慶弔費などの交際費、選挙活動などへは充てることができない。

◇令和6年度の支出

		会 派 ・ 党 派			議 員（無所属）									
		新清会 （4人）	公明党 （1人）	参政党 （1人）	本田 昭彦	宮澤 光安	平渡 亮	櫻井 勝	森 秀樹	佐々木 久夫	馬場 良勝	今野 信一	棚田 雅之	児玉 金兵衛
収入	交付額	480,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000
	負担額	54,805	4,069	0	33,753	64,102	67,738	12,329	6,623	0	39,060	8,088	5,450	26,800
	計①	534,805	124,069	120,000	153,753	184,102	187,738	132,329	126,623	120,000	159,060	128,088	125,450	146,800
支出	調査研究費	186,466	71,475			10,940		10,940		6,800	10,940	7,200	25,082	
	研修費			40,970	35,530	33,280	34,200		33,280		94,080	108,830	35,690	
	広報公聴費				66,000	124,630	153,538	51,170			48,180			
	要請陳情等活動費	328,010												
	会議費			4,210								10,000		
	資料作成費	19,944				15,252			47,394	57,772	4,860			
	資料購入費	385	46,800	2,530	46,800			60,385	45,949		1,000		48,700	146,800
	事務費		5,794		5,423			9,834				2,058	15,978	
	人件費													
	計②	534,805	124,069	47,710	153,753	184,102	187,738	132,329	126,623	64,572	159,060	128,088	125,450	146,800
主な 使い道		・被災地復旧・復興状況調査 ・要望活動費 ・書籍購入 ・振込手数料	・岐阜県視察 ・愛知県視察 ・山形県視察 ・新聞購読料 ・事務用品購入	・議員有志研修 ・町政報告会会場費 ・書籍購入	・議員有志研修 ・市町村議会議員特別セミナー ・新聞購読料 ・事務用品購入	・山形県視察 ・市町村アカデミー研修 ・リーフレット作成 ・書籍購入	・千葉県浦安市視察研修 ・市町村アカデミー研修 ・活動報告作成	・山形県視察 ・パンフレット作成 ・書籍購入 ・新聞購読料 ・事務用品購入	・市町村アカデミー研修 ・書籍購入 ・新聞購読料 ・アプリケーション利用料	・山形県視察 ・書籍購入 ・新聞購読料	・山形県視察 ・全国オーガニックフォーラム ・市町村議会議員特別セミナー ・議会報告書作成 ・書籍購入 ・事務用品購入	・山形県視察 ・市町村アカデミー研修 ・地方議員研修会 ・宮城県隊友会会議 ・事務用品購入	・議員有志研修 ・市町村議会議員特別セミナー ・書籍購入 ・新聞購読料 ・事務用品購入	・新聞購読料
差し引き返還額①－②		0	0	72,290	0	0	0	0	0	55,428	0	0	0	0

※ 使用しなかった政務活動費は条例に基づいて返還しました。

令和6年度の会派・党派

会派・党派名	代表議員	所属議員
新清会(4人)	大須賀 啓	堀籠 日出子、渡辺 良雄、今野 善行
公明党(1人)	犬飼 克子	政治上の主義・主張を同じくする人々が結成したグループを会派という。氏名のない議員は無所属となる。
参政党(1人)	佐野 瑠津	

~TAIWA VOICE~



6月8日

町消防団夏季演習で聞いた皆さんの声

Q. 夏季演習を終えて一言。

女性消防隊員 大募集中です。
いっしょに活動しませんか!!
【女性消防隊の皆さん】



日頃の訓練の成果を発揮し、
防災意識も一層高まりました。
今後も団結して取り組んでまいります。
【ラッパ隊の皆さん】



6月8日(日)総合体育館で、消防団夏季演習が行われました。

各分隊が、日ごろの小隊訓練や操法訓練などの成果を披露しました。



ポンプ操法・小隊訓練ともに1位を獲得し、
総合優勝できました。今後も、町民の安心・
安全のために活動していきます。

【第二分団(宮床地区)の皆さん】



議会を傍聴してみませんか?

受け付けは役場3階議会事務局にて行います。ぜひお越しください。
また、議会インターネット中継も行っております。
QRコードから配信をご覧ください。



次回定例会議は

期 間	9月1日(月)から 9月16日(火)まで
一 般 質 問	9月1日(月)から 9月3日(水)まで

の予定です。

大和町議会事務局
TEL:022-345-7506
メール:gikai@town.taiwa.miyagi.jp

議会広報常任委員会

編集発行責任者

議 長 今野 善行

編集委員

委 員 長 犬飼 克子

副委員長 児玉金兵衛

委 員 本田 昭彦

委 員 佐野 瑠津

委 員 平渡 亮

委 員 森 秀樹



日本代表候補選手に選出

大和町鶴巣地区の今野瑛心^{えいしん}さんがバスケットボールの日本代表候補選手(16歳以下)に選出されました。

今野さんは仙台大学附属明成高等学校に通う高校2年生。今後の目標を聞くと「インターハイ優勝を目指して頑張ります。応援よろしくお願いします」と答えてくれました。

NBAの選手になって夢を与えられるような存在になりたいと語る今野さん。大和町の若き才能の未来に注目です。

編集後記

川遊び

夏が来ると、行きたくなるのは蛇石せせらぎ公園。冷たい水ではしゃぐ子どもたちの声を聞くと、大人も童心に帰ります。魚をつかまようと頑張りますが、毎年のことながら完敗です(笑)。自然豊かな川遊びスポットは大和町の魅力の一つ。駐車場整備も予定され、町外からも多くの方に、ぜひ訪れてほしいです。
ほな次号もお楽しみに！

編集委員 佐野 瑠津

※議会だよりに掲載している写真は、本人、保護者等の許可を得て撮影・掲載しております。



この印刷物にはVOC
(揮発性有機化合物)成分ゼロの
環境にやさしい100%植物油型
インキを使用しました。